

令和5年度第3回 千葉市社会教育委員会議事録

1 日 時

令和6年2月14日（水） 午前10時から正午まで

2 場 所

千葉市役所4階 L401会議室

3 出席者

(1) 委員

三野宮議長、高山副議長、池田委員、大西委員、岩崎委員、上條委員、小早川委員、坂本委員、竹内委員、長岡委員

(2) 事務局

齋木生涯学習部長、内海生涯学習振興課長、佐久間中央図書館長、小池生涯学習振興課課長補佐、真田中央図書館管理課長、伊原中央図書館管理課主査、積田生涯学習科学教育班主査

4 議 題

- (1) 若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について
- (2) 家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について
- (3) 議長、副議長の選出について
- (4) 千城台公民館・若葉図書館の再整備について

5 議事概要

- (1) 「若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について」事務局より報告した。
- (2) 「家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について」事務局より報告した。
- (3) 議長、副議長の選出について
議長に三野宮純一氏を推薦する意見が上がり承認された。副議長には高山洋夫氏が選出された。
- (4) 「千城台公民館・若葉図書館の再整備について」事務局より説明があり、質疑応答があった。

6 会議経過

議事に先立ち、事務局から資料の確認、会議の公開及び議事録の承認方法、会議の成立の説明、委員の紹介を行った。議長・副議長の選出までは生涯学習部長が議長を務めた。

報告1 若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について (公開)

○（齋木議長）

報告1 若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について、事務局より説明をお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）

資料1により、若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について説明を行った。

○（齋木議長）

本報告につきまして、意見などございましたらお願いします。

○（三野宮委員）

千葉市の社会教育活動を代表して若松公民館が受賞しているが、市民に知らせていくことが大事だと思う。また、この受賞は自薦によるものなのか他薦によるものなのかを教えて欲しい。

○（内海生涯学習振興課長）

受賞についてはいろいろな場所で報告している。選定については、まず自薦で千葉県が集約し、県から2館を文部科学省に推薦し、若松公民館が選定された。

○（高山委員）

高齢化が進んでいる中で、公民館のサークル活動が少なくなっている。他の公民館にも伝えていくことが大切になってくる。

○（内海生涯学習振興課長）

各区を代表する中核公民館長の会議で報告し、中核公民館はそれを区内の公民館に成功事例として広げている。

○（長岡委員）

地域の事情に違いがあるので、他の公民館の活動状況等を見学できる機会があると良い。

○（大西委員）

親子活動が素晴らしい。親子でやったことはずっと記憶に残っている。また、公民館だよりを学区内の小中学校全部に配付しているのは素晴らしい。

報告2 家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について（公開）

○（齋木議長）

報告2 家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について、事務局より説明をお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）

資料2により、家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について説明を行った。

○（齋木議長）

本報告につきまして、意見などございましたらお願いします。

○（池田委員）

家庭教育支援チームは各地区にあるのか教えて欲しい。

○（内海生涯学習振興課長）

小中台地区のこもんず、真砂地区のすまいる、千城台地区のフレッシュがある。家庭教育支援チームは、子育て経験者をはじめ、臨床心理士や保育士など地域の方達で構成された自主的な集まりであるが、人材確保が難しいためチーム数は増えていない。県内でも12チームしかない状態である。

○（池田委員）

自分のいる地区でも子育てサロン等の活動をしているが、何かできることが無いか考えていきたい。

○（大西委員）

こもんずの勉強会に参加したことがあるが、稲毛区内の子育て情報をきちんとまとめていて素晴らしい。

○（長岡委員）

それぞれ活動の拠点となっている所はあるのか。

○（内海生涯学習振興課長）

こもんずは園生小、すまいるは真砂東小、フレッシュは千城台東小内に専用の部屋があり、事務局になっている。日々の講座や相談活動などは公民館などを利用することが多い。相談の申し込み等はメール等でやり取りすることが多い。

○（上條委員）

素晴らしい活動なので、各地に広げて行って欲しい。

議題1 議長、副議長の選出について（公開）

○（齋木議長）

「議題1 議長、副議長の選出」ですが、千葉市社会教育委員設置条例第5条第2項の規定により「議長及び副議長は委員の互選により定める」となっています。議長の選出につきまして、自薦他薦などがありますか。

○（上條委員）

長らく学校教育や青少年行政に携わり、生涯学習の分野で幅広い知見をお持ちで、また、公民館長としての経験もお持ちの三野宮委員を議長に推薦いたします。

○（齋木議長）

ただいま上條委員より「三野宮委員を議長に」との推薦がありましたが、委員の皆さまいかがでしょうか。

（異議なし）

○（三野宮議長）

続きまして、副議長の選任に移りたいと思います。学校現場や公民館での実務経験が豊富な高山委員にお願いしたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

（異議なし）

議題2 千城台公民館・若葉図書館の再整備について（公開）

○（三野宮議長）

続きまして「議題2 千城台公民館・若葉図書館の再整備について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）

資料3により、千城台公民館・若葉図書館の再整備について説明を行った。

○（齋木生涯学習部長）

参考資料により第2回社会教育委員会議で提案した「公民館のあり方」について補足説明を行った。

○（長岡委員）

以前は市内各区に児童センターがあった。公民館の中に子どもの居場所をどう作っていくかが大切だと思う。地域のいろいろな団体の拠点になるようにしてほしい。

○（齋木生涯学習部長）

子どもたちにも来てもらえるような地域拠点にしていきたい。これまでの公民館は個人の学び

の場になっていることが多かったが、子どもの居場所にもなれるような拠点になるように考えていきたい。

○（竹内委員）

今までは公民館の役割の中で防災拠点という視点は低かった。今後は災害があった時に学校も避難所になるが、いずれ学校は再開していかなければならない。その際に公民館の役割が大きくなってくる。

○（内海生涯学習振興課長）

駐車場は車中泊もできる広さになっている。井戸や防災用仮設トイレ、カマドベンチの設置や広場で炊き出しなど、避難所機能を強化した設計を行っていきたい。

○（竹内委員）

その際は車の中で待機できることを表示していく必要がある。

○（大西委員）

近々大きな災害があるかもしれないが、その時に慌てずに対応できるようにしていく必要がある。公民館が基地になるようにしていく必要がある。公民館に井戸があるのは大変嬉しい。

○（齋木生涯学習部長）

若葉区で勤務していた時に、実際に小学校に避難所を設置して生活する体験をしてみて、仮設トイレや簡易ベッドなどが実際に使えるかを試してみた。この新公民館でも訓練をしていきたい。

○（上條委員）

自治会に防災班があるが、これは学校と連携している。地域のネットワークに位置付けていく必要がある。

○（三野宮議長）

千城台南小の跡地すべてを使う計画なのか。また、井戸は実際に飲める井戸なのか。市内には実際には飲めない井戸もあるようだ。

○（齋木生涯学習部長）

公民館と図書館、保育所・福祉施設で使う計画になっている。千城台南小の井戸は実際に飲めていた。マンホールトイレは有効だという報告がある。

○（内海生涯学習振興課長）

高齢者施設や保育所は、安全上フェンスを設置する必要があるが、平時から連携していく予定であり、もちろん災害時も連携し、対応していく。

○（長岡委員）

幸町団地では25個のマンホールトイレがある。小中学校との連携が大切で、避難訓練には小中学生に必ず参加してもらっている。小中学生は大人よりも地域のことを知っていることもある。飲料に適さない井戸でも煮沸すれば飲める。ディーゼルの井戸だけでなく手押しポンプも付けておく必要がある。

○（齋木生涯学習部長）

井戸は毎回点検をしており、訓練の際も容易に出るようになっている。

○（高山委員）

エレベーターや多機能トイレ等の設備は必要。調理室や和室などを使いやすく設計していく必要がある。地域運営委員会の活動拠点になるようだが、どのようなものか。

○（齋木生涯学習部長）

地域運営委員会の活動拠点については地域の要望があり、条件付きで活動拠点を作る形になっている。メンバーは民生委員や自治会など主要5団体に限らず、それ以外のNPOなどの団体も使えるようにしていきたい。

○（高山委員）

公民館と図書館が一緒になるメリットはどんなものか。こてはし台の成果等も教えて欲しい。

○（佐久間中央図書館長）

公民館と図書館に、わざわざ2か所に行く人は少ない。複合化したことによって、公民館の講座に合わせて本の紹介等ができています。サークル等に紹介すると図書館の利用が増えている。企画と連動した企画展示等ができています。

○（坂本委員）

千城台の計画では、2階が公民館で1階が図書館になっているのはなぜか。公民館が防災拠点ならば1階の方が良いのではないか。防災拠点としての広さは十分あるのか。

○（内海生涯学習振興課長）

公民館を2階にした理由は、他の施設との関係で、「静」の和陽園と「動」の保育所・公民館を分けるためである。図でわかるように6m近くの高差があり、2階部分の公民館からも施設へ出入りができる。

○（齋木生涯学習部長）

災害の規模によって受け入れる場所が違ってくる。公民館は防災学習の拠点としていくことが必要。

○（三野宮議長）

他に意見等、いかがですか。

（なし）

○（三野宮議長）

それでは、以上で議事は終了となりますが、その他、委員の皆さまより、何かございますか。

（なし）

○（三野宮議長）

無いようですので、本日の会議を終了します。

千葉市社会教育委員会議 議長 三野宮 純一

問い合わせ先 千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

電 話 043-245-5954

ファックス 043-245-5992

電子メール shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp